

3 事業2年目の成果と課題

(1) 本事業による生活リズムに関する児童・生徒の変容	
○ 成果 - 地域性や生徒数にも関係するが「早寝・早起き・朝ごはん」に関してはよく実施できている。朝食をとらないで登校する生徒は0%である。 - 自分の健康管理は自分で行わなくてはならないという自覚が高まりつつある。	● 課題 アンケートをとると、長期の休業中の家庭での「早寝・早起き・朝ご飯」が守れない家庭が見られる。
(2) 「子どもの生活リズムの向上」に関する保護者や教職員の意識や取組の変容	
○ 成果 学習会や啓発活動では、教育振興会成人教育部会主催の「学力向上に関する懇談会」において、生徒の学習状況に関する実態報告を行った後、学習習慣及び生活リズム向上に関する情報交換を行い、家庭や地域での取組について共通理解をすることができた。	● 課題 担当教諭（養護教諭）が中心となり、学校行事や PTA の事業と連携して推進してきたが、行事の時だけの単発ではなく、各家庭でも常に本事業の趣旨を意識した恒常的な取組が必要である。
(3) 「子どもの生活リズムの向上」に関する全保護者や地域住民への普及・啓発に関して	
○ 成果 健康な生活に関する学習では、日頃の学習成果を生かし、五ヶ瀬町が推進している「五ヶ瀬教育ビジョン」の一環として実施された『ごかせ早寝早起き朝ごはんの歌』コンテストで受賞した歌詞に曲がつけられ町内各所に配付された。中学校では、毎朝学校の始業前に曲を流したり、敬老会など地域行事でも生徒は歌を披露したりしている。このように、町主催の事業に本事業として関わりがもて、広く町内に本事業の取組を広報・啓発することができている。	● 課題 一層の啓発を図るために、『ごかせ早寝早起き朝ごはんの歌』のリズムに合わせた子どもから高齢者まで気軽に体操できるような振り付けを、体育科教師が生徒ともに作成中である。
(4) 事業3年次（平成22年度）に重点的に取り組みたい内容	
○ 体験型イベントは、身近な資源（スキー場など）を活用した体験交流活動を通して、日常的な取組として定着させていきたい。 ○ あいさつ運動、家庭学習充実週間（ノーテレビディ）は、中学校で実施しているが、小学校とも連携して鞍岡地区（鞍岡小・中学校）の取組として実施していきたい。 ○ 町が取り組んでいる「五ヶ瀬すこやかプラン」との一層の連携を図って本事業を推進することで、他の町内4小学校、1中学校に「子どもの生活リズムの向上」に関する啓発が図れると考える。	